

<総数>

性別で見ると、男性では「75歳以上」(30.2%)が最も多く、「70歳以上」(22.9%)、「80歳以上」(22.7%)の順であるが、女性では「80歳以上」(30.0%)が最も多く、次いで「75歳以上」(27.5%)となり、「年齢では判断できない」(16.3%)がその次につづく。

最も長く従事した職業別にみると、「75歳以上」では、契約・派遣・臨時・パートで30.8%となっている。「80歳以上」では、専業主婦・主夫で32.7%、契約・派遣・臨時・パートで32.1%、農林漁業で31.9%と他の職業より高くなっている。「年齢では判断できない」は農林漁業で22.1%と高い。

収入別にみると、「70歳以上」は40万円以上(23.1%)で他の収入階級より高くなっている。

<55~59歳>

性別で見ると、男性は「70歳以上」(38.1%)が最も多く、女性では「75歳以上」(31.5%)が最も多い。

収入別にみると、「70歳以上」では40万円以上(32.0%)、「75歳以上」では20万円~40万円未満(37.4%)、「80歳以上」では20万円未満(28.1%)がそれぞれ他の収入階級より高くなっている。

<60歳以上>

性別で見ると、男性は「75歳以上」が30.4%、女性は「80歳以上」が30.8%で最も多い。最も長く従事した職業別にみると、「75歳以上」では、常勤の被雇用者で30.7%となっている。「80歳以上」では、農林漁業で32.4%、契約・派遣・臨時・パートで32.4%、専業主婦・主夫で31.3%と他の職業よりやや高くなっている。「年齢では判断できない」は農林漁業で22.5%と高い。

収入別にみると、「80歳以上」は40万円以上(33.3%)で他の収入階級より高くなっている。

表 2-12-1 属性別にみた支えられるべきと思う高齢者の年齢（1）

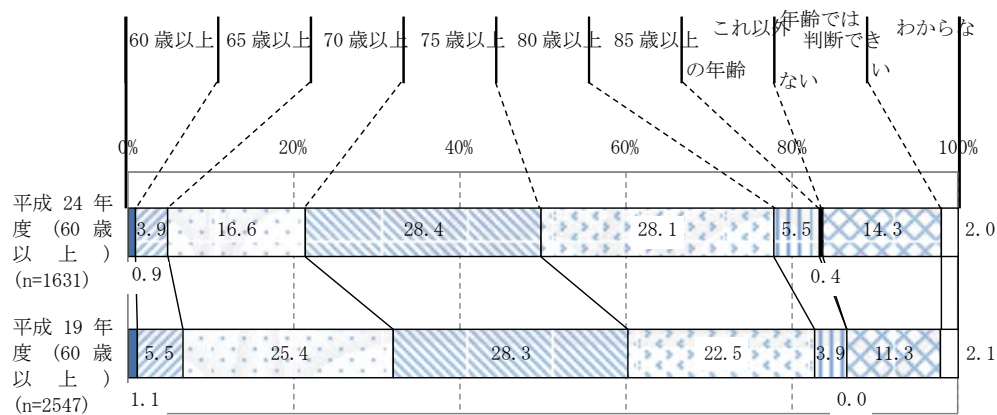
	総数	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	これ以外の年齢	年齢では判断できない
(単位：%)									
総数	1919	1.0	4.1	18.1	28.7	26.7	5.6	0.4	13.8
〔性別〕									
男性	865	1.2	5.7	22.9	30.2	22.7	4.9	0.3	10.6
女性	1054	0.9	2.8	14.1	27.5	30.0	6.2	0.4	16.3
〔年齢別〕									
55～59歳	288	1.7	5.6	26.7	30.2	18.8	5.9	-	10.8
60～64歳	389	0.8	5.1	19.5	31.9	27.0	2.8	-	12.1
65～69歳	361	-	4.2	18.0	33.8	26.0	6.1	0.3	11.1
70～74歳	345	1.4	3.2	13.0	28.7	32.5	4.6	0.6	13.6
75～79歳	256	0.8	3.9	18.8	27.0	25.0	6.6	-	15.6
80歳以上	280	1.4	2.5	12.9	17.9	29.6	8.6	1.4	21.1
65歳以上（再掲）	1242	0.9	3.5	15.6	27.4	28.4	6.4	0.6	15.0
75歳以上（再掲）	536	1.1	3.2	15.7	22.2	27.4	7.6	0.7	18.5
〔最長職業〕									
農林漁業	113	-	0.9	12.4	19.5	31.9	8.8	0.9	22.1
自営業	324	0.6	4.9	18.2	26.5	26.9	6.8	-	14.5
常勤の被雇用者	1029	1.3	4.7	19.6	30.5	24.1	5.1	0.4	13.2
契約・派遣・臨時・パート	221	1.4	1.4	13.1	30.8	32.1	4.5	0.5	14.0
内職	22	-	4.5	18.2	22.7	31.8	4.5	-	9.1
専業主婦・主夫	159	0.6	3.1	17.0	28.3	32.7	4.4	0.6	11.9
その他	11	-	9.1	9.1	36.4	27.3	9.1	-	9.1
仕事に就いたことはない	39	-	10.3	28.2	15.4	20.5	10.3	-	7.7
〔月当たり平均月収-3区分〕									
20万円未満	701	1.7	4.1	16.1	28.5	25.8	4.6	0.6	15.7
20万円～40万円未満	790	0.5	3.9	18.5	29.5	25.9	7.2	0.3	13.3
40万円以上	316	0.3	5.1	23.1	27.2	28.8	4.1	-	11.1
〔55～59歳〕									
総数	288	1.7	5.6	26.7	30.2	18.8	5.9	-	10.8
〔性別〕									
男性	126	1.6	9.5	38.1	28.6	10.3	5.6	-	6.3
女性	162	1.9	2.5	17.9	31.5	25.3	6.2	-	14.2
〔最長職業〕									
農林漁業	11	-	-	18.2	18.2	27.3	18.2	-	18.2
自営業	38	-	10.5	39.5	21.1	15.8	2.6	-	7.9
常勤の被雇用者	184	2.7	6.5	29.3	29.9	14.7	6.0	-	10.9
契約・派遣・臨時・パート	36	-	-	13.9	41.7	30.6	-	-	13.9
内職	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
専業主婦・主夫	15	-	-	6.7	33.3	46.7	6.7	-	6.7
その他	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
仕事に就いたことはない	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〔月当たり平均月収-3区分〕									
20万円未満	57	3.5	5.3	17.5	22.8	28.1	5.3	-	17.5
20万円～40万円未満	107	0.9	6.5	29.0	37.4	11.2	6.5	-	8.4
40万円以上	103	1.0	4.9	32.0	27.2	19.4	6.8	-	8.7
〔60歳以上〕									
総数	1631	0.9	3.9	16.6	28.4	28.1	5.5	0.4	14.3
〔性別〕									
男性	739	1.1	5.0	20.3	30.4	24.8	4.7	0.4	11.4
女性	892	0.7	2.9	13.5	26.8	30.8	6.2	0.4	16.7
〔最長職業〕									
農林漁業	102	-	1.0	11.8	19.6	32.4	7.8	1.0	22.5
自営業	286	0.7	4.2	15.4	27.3	28.3	7.3	-	15.4
常勤の被雇用者	845	0.9	4.3	17.5	30.7	26.2	4.9	0.5	13.7
契約・派遣・臨時・パート	185	1.6	1.6	13.0	28.6	32.4	5.4	0.5	14.1
内職	21	-	4.8	19.0	23.8	33.3	-	-	9.5
専業主婦・主夫	144	0.7	3.5	18.1	27.8	31.3	4.2	0.7	12.5
その他	9	-	11.1	11.1	33.3	33.3	-	-	11.1
仕事に就いたことはない	39	-	10.3	28.2	15.4	20.5	10.3	-	7.7
〔月当たり平均月収-3区分〕									
20万円未満	644	1.6	4.0	16.0	29.0	25.6	4.5	0.6	15.5
20万円～40万円未満	683	0.4	3.5	16.8	28.3	28.3	7.3	0.3	14.1
40万円以上	213	-	5.2	18.8	27.2	33.3	2.8	-	12.2

表 2-12-1 属性別にみた支えられるべきと思う高齢者の年齢 (2)

(単位: %)	わからない
総 数	1.7
〔性 別〕	
男 性	1.6
女 性	1.8
〔年 齢 別〕	
55～59 歳	0.3
60～64 歳	0.8
65～69 歳	0.6
70～74 歳	2.3
75～79 歳	2.3
80 歳以上	4.6
65 歳以上 (再掲)	2.3
75 歳以上 (再掲)	3.5
〔最長職業〕	
農林漁業	3.5
自営業	1.5
常勤の被雇用者	1.2
契約・派遣・臨時・パート	2.3
内 職	9.1
専業主婦・主夫	1.3
その他	-
仕事に就いたことはない	7.7
〔月当たり平均月収-3 区分〕	
20 万円未満	2.9
20 万円～40 万円未満	0.9
40 万円以上	0.3
【55～59 歳】	
総 数	0.3
〔性 別〕	
男 性	-
女 性	0.6
〔最長職業〕	
農林漁業	-
自営業	2.6
常勤の被雇用者	-
契約・派遣・臨時・パート	-
内 職	-
専業主婦・主夫	-
その他	-
仕事に就いたことはない	-
〔月当たり平均月収-3 区分〕	
20 万円未満	-
20 万円～40 万円未満	-
40 万円以上	-
【60 歳以上】	
総 数	2.0
〔性 別〕	
男 性	1.9
女 性	2.0
〔最長職業〕	
農林漁業	3.9
自営業	1.4
常勤の被雇用者	1.4
契約・派遣・臨時・パート	2.7
内 職	9.5
専業主婦・主夫	1.4
その他	-
仕事に就いたことはない	7.7
〔月当たり平均月収-3 区分〕	
20 万円未満	3.1
20 万円～40 万円未満	1.0
40 万円以上	0.5

60 歳以上について、時系列にみると、「75 歳以上」までを回答していた割合が、平成 19 年度調査の約 6 割から今年度調査では約 5 割と低くなっている。一方、「80 歳以上」は平成 19 年度調査が 22.5%，今年度調査が 28.1%と高くなっている。

図 2-12-2 時系列にみた支えられるべきと思う高齢者の年齢

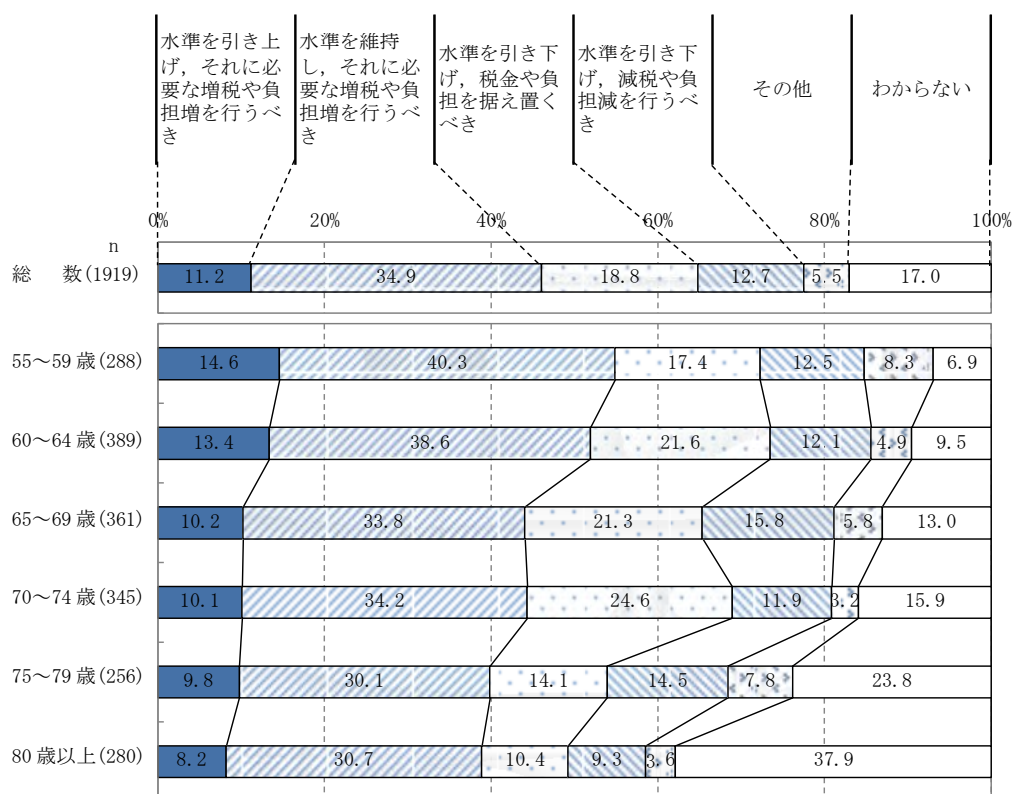


(13) 社会保障給付と税負担との関係 (Q16)

「今後の社会保障給付の水準と、税金や社会保険料の負担との関係」についてたずねたところ、総数で、最も多いのは「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」が34.9%、以下、「水準を引き下げ、税金や負担を据え置くべき」が18.8%、「水準を引き下げ、減税や負担減を行うべき」が12.7%と続いている。「水準を引き上げ、それに必要な増税や負担増を行うべき」は11.2%である。また、「わからない」は17.0%となっている。

年齢階級別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は55～59歳(40.3%)で最も高く、年齢階級が上がるほど、割合が低くなる傾向がみられる。

図2-13-1 社会保障給付と税負担との関係



<総数>

性別で見ると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は女性（31.5%）よりも男性（39.0%）の方が高い。「わからない」は男性（11.1%）よりも女性（21.8%）の方が高い。

現在の仕事別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は農林漁業（48.1%）、常勤の被雇用者（42.3%）で高くなっている。

収入別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は、40万円以上で45.6%と高い。「わからない」は20万円未満で26.2%と高い。

<55～59歳>

性別で見ると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」（男性42.1%、女性38.9%）は男性の方が上回っている。

現在の仕事別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」（45.4%）、「水準を引き上げ、それに必要な増税や負担増を行うべき」（20.4%）は、常勤の被雇用者で高くなっている。

収入別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は、40万円以上で46.6%と高い。「水準を引き下げ、税金や負担を据え置くべき」は20万円未満で24.6%と高くなっている。

<60歳以上>

性別で見ると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は女性（30.2%）よりも男性（38.4%）の方が高い。「わからない」は男性（11.9%）よりも女性（24.4%）の方が高い。

現在の仕事別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は農林漁業（47.8%）、契約・派遣・臨時・パート（40.7%）で高い。「水準を引き下げ、減税や負担を据え置くべき」は自営業（25.3%）で高くなっている。

収入別にみると、「水準を維持し、それに必要な増税や負担増を行うべき」は40万円以上（45.1%）で高い。「わからない」は20万円未満で27.8%と高い。

表 2-13-1 属性別にみた社会保障給付と税負担との関係

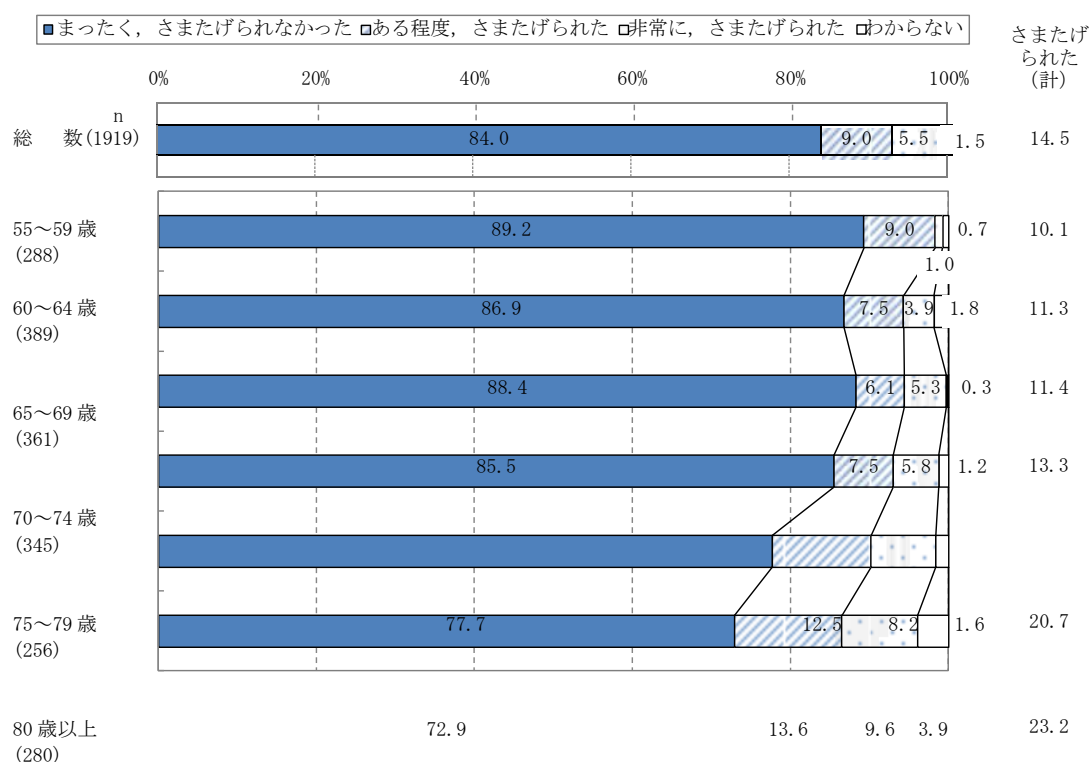
	総数	水準を引 き上げ、 それに必 要な増税 や負担増 を行うべ き	水準を維 持し、そ れに必要な 増税や 負担増を 行うべき	水準を引 き下げ、 税金や負 担を据え 置くべき	水準を引 き下げ、 減税や負 担減を行 うべき	その他	わから ない
(単位：%)							
総 数	1919	11.2	34.9	18.8	12.7	5.5	17.0
〔性 別〕							
男 性	865	13.6	39.0	19.3	11.8	5.2	11.1
女 性	1054	9.1	31.5	18.4	13.5	5.7	21.8
〔年 齢 別〕							
55～59 歳	288	14.6	40.3	17.4	12.5	8.3	6.9
60～64 歳	389	13.4	38.6	21.6	12.1	4.9	9.5
65～69 歳	361	10.2	33.8	21.3	15.8	5.8	13.0
70～74 歳	345	10.1	34.2	24.6	11.9	3.2	15.9
75～79 歳	256	9.8	30.1	14.1	14.5	7.8	23.8
80 歳以上	280	8.2	30.7	10.4	9.3	3.6	37.9
65 歳以上 (再掲)	1242	9.7	32.4	18.3	13.0	5.0	21.7
75 歳以上 (再掲)	536	9.0	30.4	12.1	11.8	5.6	31.2
〔現在の仕事〕							
農林漁業	81	6.2	48.1	13.6	16.0	2.5	13.6
自営業	199	14.6	32.7	23.6	10.1	6.0	13.1
常勤の被雇用者	201	15.9	42.3	17.9	10.0	7.5	6.5
会社の嘱託や顧問等	50	12.0	48.0	20.0	8.0	10.0	2.0
契約・派遣・臨時・パート	224	14.3	39.7	17.9	13.8	6.7	7.6
内 職	4	25.0	-	50.0	-	-	25.0
その他	9	11.1	55.6	22.2	-	11.1	-
有職 (再掲)	768	13.8	40.0	19.3	11.5	6.5	9.0
仕事はしていない	1151	9.4	31.5	18.5	13.6	4.8	22.3
〔月当たり平均月収-3 区分〕							
20 万円未満	701	7.7	27.2	20.5	14.7	3.6	26.2
20 万円～40 万円未満	790	12.4	39.1	19.2	12.9	6.2	10.1
40 万円以上	316	16.1	45.6	15.8	8.2	7.9	6.3
【55～59 歳】							
総 数	288	14.6	40.3	17.4	12.5	8.3	6.9
〔性 別〕							
男 性	126	16.7	42.1	18.3	8.7	7.9	6.3
女 性	162	13.0	38.9	16.7	15.4	8.6	7.4
〔現在の仕事〕							
農林漁業	12	-	50.0	16.7	16.7	8.3	8.3
自営業	41	17.1	26.8	17.1	9.8	19.5	9.8
常勤の被雇用者	108	20.4	45.4	14.8	7.4	7.4	4.6
会社の嘱託や顧問等	6	-	66.7	-	16.7	16.7	-
契約・派遣・臨時・パート	47	8.5	36.2	27.7	14.9	4.3	8.5
内 職	1	-	-	-	-	-	100.0
その他	3	-	66.7	-	-	33.3	-
有職 (再掲)	218	15.1	40.8	17.4	10.1	9.6	6.9
仕事はしていない	70	12.9	38.6	17.1	20.0	4.3	7.1
〔月当たり平均月収-3 区分〕							
20 万円未満	57	7.0	42.1	24.6	12.3	5.3	8.8
20 万円～40 万円未満	107	13.1	39.3	17.8	16.8	7.5	5.6
40 万円以上	103	19.4	46.6	14.6	6.8	9.7	2.9
【60 歳以上】							
総 数	1631	10.5	33.9	19.1	12.8	5.0	18.8
〔性 別〕							
男 性	739	13.1	38.4	19.5	12.3	4.7	11.9
女 性	892	8.4	30.2	18.7	13.1	5.2	24.4
〔現在の仕事〕							
農林漁業	69	7.2	47.8	13.0	15.9	1.4	14.5
自営業	158	13.9	34.2	25.3	10.1	2.5	13.9
常勤の被雇用者	93	10.8	38.7	21.5	12.9	7.5	8.6
会社の嘱託や顧問等	44	13.6	45.5	22.7	6.8	9.1	2.3
契約・派遣・臨時・パート	177	15.8	40.7	15.3	13.6	7.3	7.3
内 職	3	33.3	-	66.7	-	-	-
その他	6	16.7	50.0	33.3	-	-	-
有職 (再掲)	550	13.3	39.6	20.0	12.0	5.3	9.8
仕事はしていない	1081	9.2	31.0	18.6	13.1	4.8	23.3
〔月当たり平均月収-3 区分〕							
20 万円未満	644	7.8	25.9	20.2	14.9	3.4	27.8
20 万円～40 万円未満	683	12.3	39.1	19.5	12.3	6.0	10.8
40 万円以上	213	14.6	45.1	16.4	8.9	7.0	8.0

(14) ふだんのつきあいが身体的、心理的理由でさまたげられた頻度 (Q17)

「過去1ヶ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的理由で、どれくらいさまたげられたか」についてたずねたところ、総数で、大半を占めるのは「まったく、さまたげられなかった」が84.0%である。以下、「ある程度、さまたげられた」は9.0%、「非常に、さまたげられた」は5.5%である。

年齢階級別にみると、「さまたげられた(計)」(「ある程度、さまたげられた」と「非常に、さまたげられた」を合わせた割合)は、年齢階級が上がるほど高くなる傾向がみられ、75～79歳で20.7%、80歳以上では23.2%と高くなっている。

図2-14-1 年齢階級別にみたふだんのつきあいが身体的、心理的理由でさまたげられた頻度



<総数>

性別で見ると、「まったく、さまたげられなかった」は男性が 85.8%，女性が 82.5%と男性の方が高い。「ある程度、さまたげられた」，「非常に、さまたげられた」を合わせた「さまたげられた（計）」は，男性 12.6%，女性 16.0%で女性の方が高い。

未既婚別にみると，「まったく、さまたげられなかった」は，既婚（配偶者と離別）で 92.2%，未婚で 89.2%と高い。「さまたげられた（計）」は，既婚（配偶者と死別）で 22.2% と高い。

<55～59 歳>

性別で見ると，「さまたげられた（計）」は，男性が 11.9%，女性が 8.6%と男性の方が高い。

未既婚別では，大きな差はみられない。

<60 歳以上>

性別で見ると，「さまたげられた（計）」は，男性が 12.7%，女性が 17.4%と女性の方が高く，55～59 歳とは傾向が異なる。

未既婚別にみると，「まったく、さまたげられなかった」は既婚（配偶者と離別）が 92.1%と高い。「さまたげられた（計）」は，既婚（配偶者と死別）で 21.8%と高い。

表2-14-1 属性別にみたふだんのつきあいが身体的、心理的理由でさまたげられた頻度

(単位：%)	総数	まったく、さまたげられなかった	ある程度、さまたげられた	非常に、さまたげられた	わからない	さまたげられた(計)
総数	1919	84.0	9.0	5.5	1.5	14.5
〔性別〕						
男性	865	85.8	7.3	5.3	1.6	12.6
女性	1054	82.5	10.4	5.6	1.4	16.0
〔年齢別〕						
55～59歳	288	89.2	9.0	1.0	0.7	10.1
60～64歳	389	86.9	7.5	3.9	1.8	11.3
65～69歳	361	88.4	6.1	5.3	0.3	11.4
70～74歳	345	85.5	7.5	5.8	1.2	13.3
75～79歳	256	77.7	12.5	8.2	1.6	20.7
80歳以上	280	72.9	13.6	9.6	3.9	23.2
65歳以上(再掲)	1242	81.9	9.5	7.0	1.6	16.5
75歳以上(再掲)	536	75.2	13.1	9.0	2.8	22.0
〔未婚〕						
未婚	83	89.2	2.4	6.0	2.4	8.4
既婚(配偶者あり)	1429	85.3	9.0	4.6	1.1	13.6
既婚(配偶者と死別)	329	75.1	12.5	9.7	2.7	22.2
既婚(配偶者と離別)	77	92.2	2.6	2.6	2.6	5.2
〔55～59歳〕						
総数	288	89.2	9.0	1.0	0.7	10.1
〔性別〕						
男性	126	86.5	11.1	0.8	1.6	11.9
女性	162	91.4	7.4	1.2	-	8.6
〔未婚〕						
未婚	21	100.0	-	-	-	-
既婚(配偶者あり)	244	88.9	9.0	1.2	0.8	10.2
既婚(配偶者と死別)	8	62.5	37.5	-	-	37.5
既婚(配偶者と離別)	14	92.9	7.1	-	-	7.1
〔60歳以上〕						
総数	1631	83.1	9.0	6.3	1.7	15.3
〔性別〕						
男性	739	85.7	6.6	6.1	1.6	12.7
女性	892	80.9	11.0	6.4	1.7	17.4
〔未婚〕						
未婚	62	85.5	3.2	8.1	3.2	11.3
既婚(配偶者あり)	1185	84.6	8.9	5.3	1.2	14.3
既婚(配偶者と死別)	321	75.4	11.8	10.0	2.8	21.8
既婚(配偶者と離別)	63	92.1	1.6	3.2	3.2	4.8